

平成16年度 鷺山公民館講座・女性学級講座

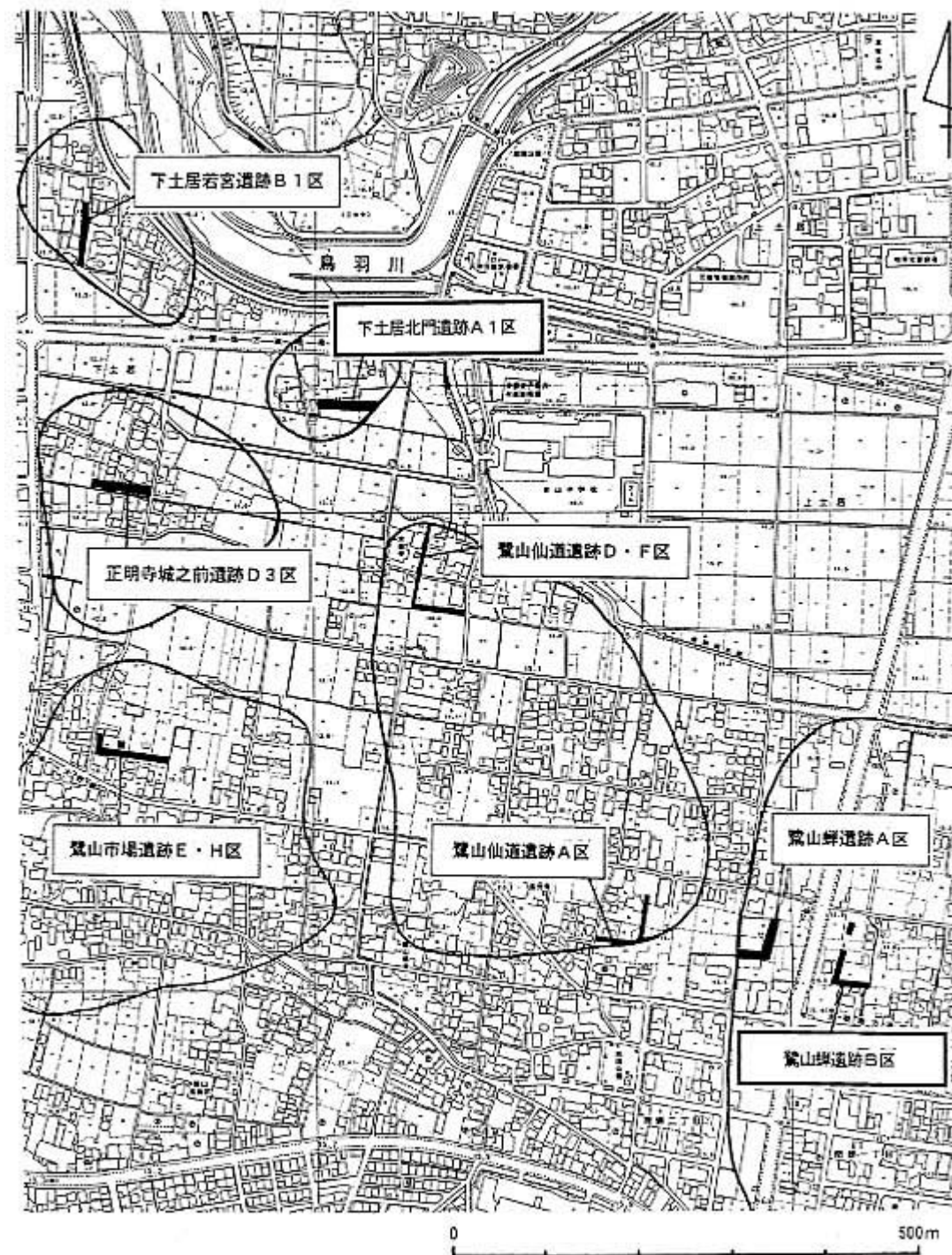
## 第6回「鷺山の歴史」シリーズ講座

### 平成15年度の調査結果と今年度の最新成果

平成16年8月7日(土)

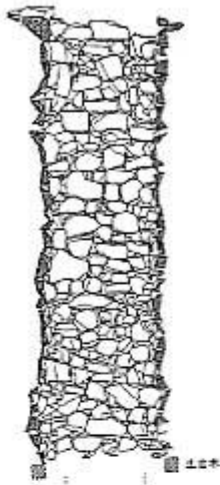
(財)岐阜市教育文化振興事業団  
埋蔵文化財調査事務所 朝田 公年

1. はじめに
2. 鷺山遺跡群の発掘調査成果
  - ・古墳時代～古代の成果
  - ・中世～戦国時代以降の成果
  - ・今年度の最新成果
3. 井戸について
4. 将棋の駒について
5. まとめ

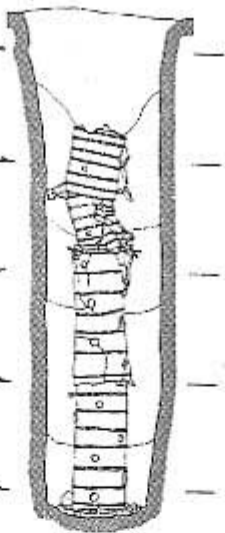


平成15年度発掘調査区位置図

<格々井戸>



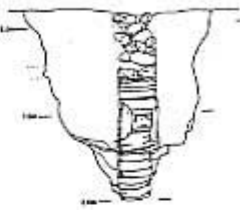
石組み  
(岐阜城千畳敷)



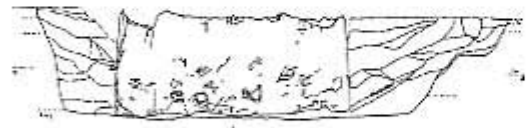
埴輪積み  
(大阪府太井)



結桶積み  
(岡山山廻)



埴物積み  
(愛知県門閘活)



丸太くり抜き  
(全てS=1/50) (大阪府池上普植)



編物組み  
(大阪府池島・福万寺)

<発掘調査で出土した将棋の駒>



静岡県小川城



静岡県駿府城三の丸 (全てS=1/3)

遺跡名	所在地	特徴その他
小川城	静岡県焼津市	「竜王」「官虎」「角行」と不明計4枚、戦国時代
駿府城三の丸	静岡県静岡市	「歩兵」「反車」「玉将」と不明計4枚、戦国時代
清洲城下町	愛知県清洲町	「歩兵」「飛」?計2枚、戦国時代
名古屋城三の丸	愛知県名古屋市	「桂馬」、江戸時代、磁器製
安養寺	三重県二見町	「金」「歩」「歩」計3枚、鎌倉~南北朝時代
赤坂城	三重県四日市市	「反車」「桂馬」計2枚、戦国時代
龍山廻	岐阜県岐阜市	「王将」計1枚、戦国時代

東海地方で出土した将棋の駒

年	代	時	代
二〇〇〇	二〇〇〇	近代・現代	
一九〇〇	一九〇〇	江戸時代	
一七〇〇	一七〇〇	安土桃山時代	
一六〇〇	一六〇〇	戦国時代	
一五〇〇	一五〇〇	南北朝時代	
一四〇〇	一四〇〇	南北朝時代	
一三〇〇	一三〇〇	鎌倉時代	
一二〇〇	一二〇〇	平安時代	
一一〇〇	一一〇〇	平安時代	
一〇〇〇	一〇〇〇	奈良時代	
九〇〇	九〇〇	飛鳥時代	
八〇〇	八〇〇	古墳時代	
七〇〇	七〇〇	古墳時代	
六〇〇	六〇〇	古墳時代	
五〇〇	五〇〇	古墳時代	
四〇〇	四〇〇	古墳時代	
三〇〇	三〇〇	古墳時代	
二〇〇	二〇〇	古墳時代	
一〇〇	一〇〇	古墳時代	
〇	〇	古墳時代	
一〇〇〇	一〇〇〇	縄文時代	
二〇〇〇	二〇〇〇	縄文時代	
三〇〇〇	三〇〇〇	縄文時代	
四〇〇〇	四〇〇〇	縄文時代	
五〇〇〇	五〇〇〇	縄文時代	
六〇〇〇	六〇〇〇	縄文時代	
七〇〇〇	七〇〇〇	縄文時代	
八〇〇〇	八〇〇〇	縄文時代	
九〇〇〇	九〇〇〇	縄文時代	
一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	縄文時代	

<用語解説>

**遺構** 大地に残る過去の人間活動の痕跡で、土地につながっていて分離できない不動産的なもの。住居や城・屋敷・墳墓・水田・畑などの構築物やその部分を指す。

**堅穴住居** 地面を掘り下げて床面とした、半地下式の住居。平面形は方形・丸形・楕円形など様々。縄文時代以降、古墳時代まで全国的に住居の主流であった。

**土師器** 弥生土器の技術を受けついで、古墳時代以降の素焼きの土器。主に野焼きで焼かれるため、赤褐色の軟質な製品となる。古代以降は需要の拡大とともに土器の大量生産、土器づくり工人の専門化がすすむ。土鍋や土釜、かわらけといった土師器系の土器は、近世まで製作・使用され続ける。

**須恵器** 古墳時代中期(約1600年前ころ)朝鮮半島より技術者が渡来して作られた土器。ろくろで成形し、窖窯のなかで1000以上の高温と還元状態で焼かれるため、青灰色の硬質な製品となる。須恵器製作の技術はやがて全国に拡がり、後の陶磁器生産の起源となる。

**区画溝** 屋敷や屋敷の内部を区画する溝

**土坑** 遺構の一つで、人間が地面を掘り下げ作った穴のこと。形状は様々で、その名称も廃棄土坑(ゴミ穴)・鑄造土坑など、目的や用途により分かれる。

**かわらけ** 土師器皿の一般名称で、素焼きの皿のことを指す。

**瀬戸・美濃産陶器** 愛知県瀬戸市および岐阜県東濃地方で焼かれた陶器。

**渡来銭** 中国で製造された銅銭で、中世以降日本に大量に輸入され、流通した。